

平成21年度「大学教育・学生支援推進事業（学生支援推進プログラム）」

わが国経済を支える ものづくり中堅・中小企業への 学生就職支援

2010年3月4日

ものづくり大学 教務長・就職支援本部長 森山 茂夫



1.ものづくり大学の紹介

概要

開学： 2001年4月

所在地： 埼玉県行田市前谷

学部学科： 技能工芸学部

製造技能工芸学科180名/学年

建設技能工芸学科180名/学年

大学院： ものづくり学研究所20名/学年

教員数： 49名／職員数： 28名



設立の目的

「ものづくり大学」は、ものづくりの「技」と「知恵」、そして「心」を併せ持つ人材を育成することを目的に国、地方自治体、産業界からの支援を受けて、2001年4月に設立されました。

基本理念

- 1 ものづくりに直結する実技・実務教育の重視
- 2 技能と科学、技術・芸術・経済・環境とを連結する教育研究の重視
- 3 時代と社会からの要請に適合する教育・研究の重視
- 4 自発性・独創性・協調性をもった人間性豊かな教育の重視
- 5 ものづくり現場での統率力や起業力を養うマネジメント教育の重視
- 6 技能・科学技術・社会経済のグローバル化に対応できる国際性の重視

製造技能工芸学科の4つのコース

先進加工技術コース



機械デザインコース



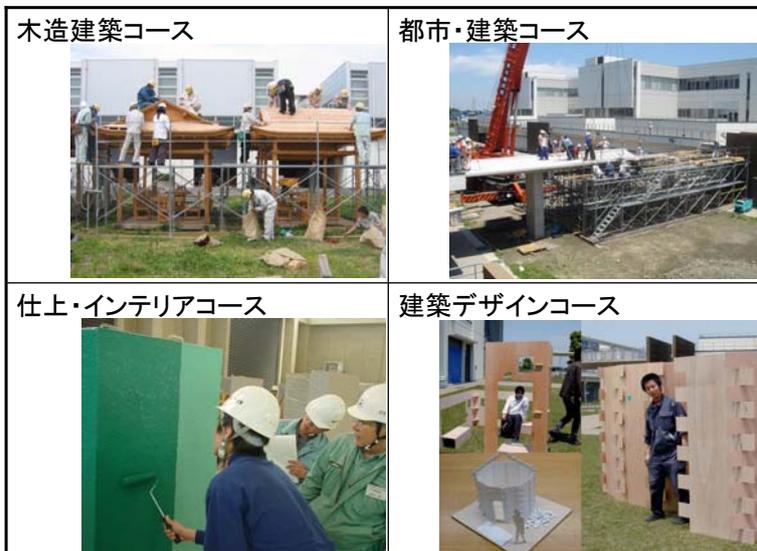
電気電子・ロボットコース



情報・マネジメントコース



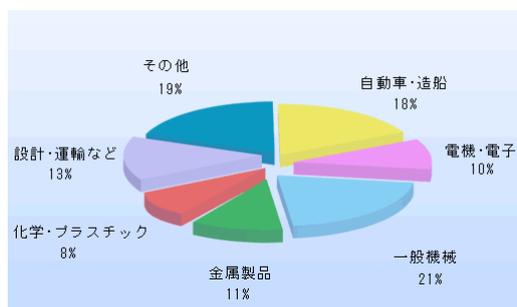
建設技能工芸学科の4つのコース



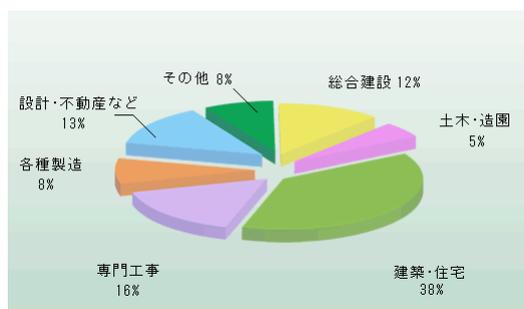
2. 2004～2008年度までの就職状況

製造技能工芸学科

トヨタ自動車株式会社
 アイシン精機株式会社
 セントラル自動車株式会社
 日野自動車株式会社
 東日本旅客鉄道株式会社
 株式会社日立製作所
 キヤノン株式会社
 芝浦メカトロニクス株式会社
 株式会社前川製作所
 日立アロイ株式会社
 NOK株式会社
 天昇電気工業株式会社
 三菱電機エンジニアリング株式会社
 総合警備保障株式会社
 富士電機ホールディングスグループ

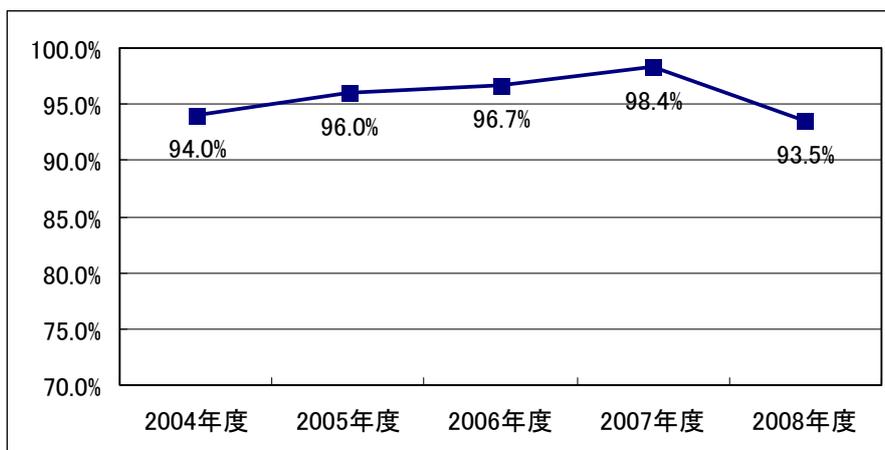


建設技能工芸学科

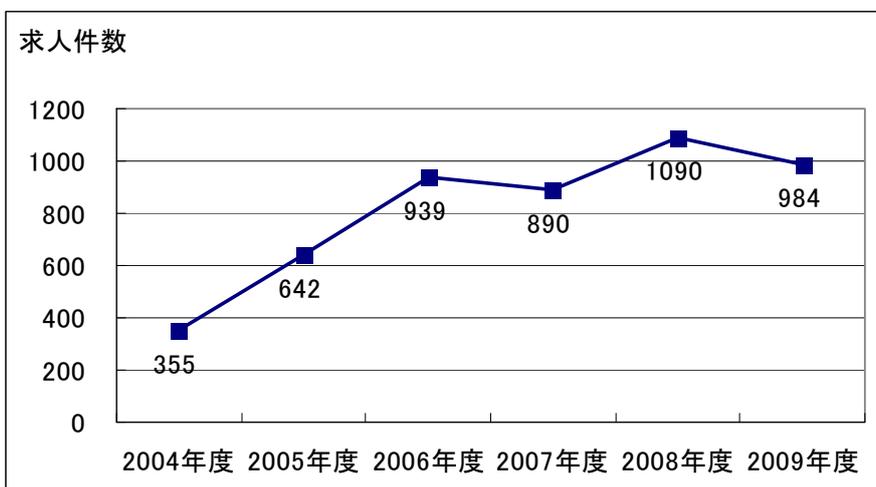


清水建設株式会社
 東鉄工業株式会社
 埼玉建興株式会社
 前田道路株式会社
 株式会社八廣園
 住友林業株式会社
 岡建工事株式会社
 株式会社こもだ建総
 トヨタホーム東京株式会社
 大成設備株式会社
 俳優座劇場株式会社
 昭和株式会社
 中村勉総合計画事務所
 西日本旅客鉄道株式会社
 中央職業能力開発協会

民間就職率 (民間就職者数/民間就職希望者数、%)



求人数の推移（4年生4月現在）



3. 本取組における目的、達成目標

【取組の目的】

ものづくり産業における中堅・中小の求人企業と求職学生とのマッチングを最大限はかる。

【達成目標の設定】

A. 未就職者率低減→卒業生の8%以内を目標

B. ものづくり中堅・中小企業就職者率を向上→80%以上目標

ものづくり中堅・中小企業就職率=ものづくり中堅・中小企業就職者数/民間企業就職者数)

4. 取組みの内容・実施体制・評価体制

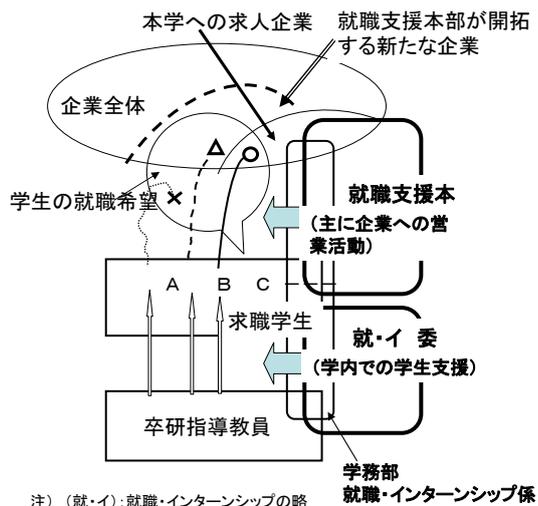
【取組の内容】

- ① ものづくり中堅・中小企業の新たな求人を開拓
- ② キャリアカウンセラーによる学生のポテンシャル高揚
- ③ 保護者会開催等による就職環境整備

対象	実施計画	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4年生・3年生向け	キャリアカウンセリング	実施						
4年生向け	2010年3月卒業予定者向 学内合同企業説明会		実施					
	2010年3月卒業予定者向 緊急進路セミナー				実施			
3年生向け	就職セミナー	実施						
	企業見学バス見学ツアー	実施				実施		
	保護者会		実施					
	2011年3月卒業予定者向 学内合同企業説明会				実施(計6回)			
	就職求人検索システム	システム選択・発注準備等					本格稼働	

【実施体制】

- ① 学生への指導體制：
各研究室教員を就職・
インターンシップ委員
会がサポート：
外部専門家による個別
カウンセリングを実施
- ② 求人企業開拓・求人情
報の整備拡充体制：
就職支援本部中心
- ③ 教務長の指揮で①と②
を事務局がつなぎ、
保護者や同窓会、関連
企業と連携した就職支
援体制を充実



【取組の評価体制】

本事業の実施状況と成果を具体的に評価するため、

- 毎月の教授会で報告
- 学長主催の代議員会で学生の参加率、企業からの意見などを報告
- 総合的な評価や問題提起を就職支援本部と就職・インターンシップ委員会の合同会議にフィードバック

5. 4年生を対象とした取組と効果・評価

●新規求人企業開拓の方法と実績

	企業開拓の方法	接触企業数	求人企業数
①	東京商工リサーチ等求人情報企業訪問	15社	3社
②	団体の会合等への出席・求人依頼	100社	4社
③	「雇用創出企業1400社」等への求人依頼	22社	12社
④	大学との共同研究等企業への求人依頼	20社	2社
⑤	企業情報会社委託優良企業リストより	32社	19社
⑥	近県工業団地立地企業への求人依頼	100社	30社
	合計	289社	70社
⑦	①～⑤の企業に企業説明会出席要請	24社	14社
⑧	ハローワークインターネットサービスより	約300社	約50社

●**キャリアカウンセリング**

・**外部のキャリアカウンセラー2名**
(計週平均3日勤務)に依頼。

- ・2009年9月以降、2010年2月22日まで61日、延べ148名実施。
- ・2010年1月中旬までは4年生が大半。(1月下旬以降3年生含む)

【定期的カウンセラーとの打合せでの意見】

- ・素直でまじめで好感を持てる。
- ・「もっと自分に自信をもって」ほしい。
- ・「事例集」として整備し、ものづくり大 学オリジナルのテキストとして広く活用すべき。
- ・3年生向就職強化セミナーも開催
- ・3年生のカウンセリングや勉強会の充実を図るべき。⇒未内定者向フォローセミナー、就職強化セミナーの実施

【成功事例】H君←→株式会社OS

H君は早くから就職活動をしていたが内定が出ず、9月以降、就職活動とあわせ、キャリアカウンセリングを計22回行った。また、12月の緊急進路セミナーにも積極的に参加した。その結果、株式会社OS(建築用金属製品製造)に12月に内定となった。



●**2010年3月卒業生向学内合同企業説明会(10月)**

- ・2009年10月13日(火)、2009年10月16日(金)に4年生向け追加開催。
- ・求人企業、新規開拓企業、中小企業家同友会会員企業等に依頼。

【参加企業数】 (社)		【参加者数】 (名)	
	計		計
10/13	18	10/13	49
10/16	26	10/16	50

【**結果**】 **参加企業44社のうち、6社に7名の学生が内定。**

【成功事例】I君←→株式会社IG

I君は総合建設業をめざし、7~8月にかけての専門インターンシップを履修した企業への就職を目指していた。インターンシップ先の現場の評価は良かったものの、企業業績等の事情から採用に至らず秋を迎えた。今回の合同企業説明会は、I君にとって極めてタイミングがよく、自身が希望する企業に出会えたことで、面接等を経て11月には内定となった。

【**評価**】 **7名と残り40数名の学生の分析、6社と残り38社の企業の分析により、来年度以降の学生と企業とのマッチングに活用すべき**

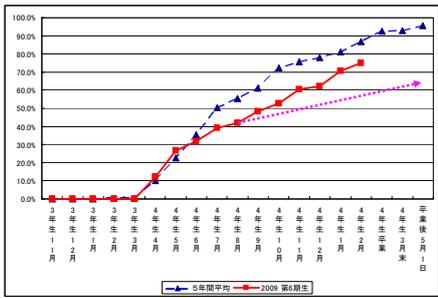
●2010年3月卒業予定者向け緊急進路セミナー

- 【目的】 就職活動の動き方の復習、自立的活動を行えることを目標
- 【日時・概要】 ①12月 3日(木)(学科別) / 今後の就職活動支援の概要
 ②12月10日(木)(共通) / 履歴書の書き方
 ③12月16日(水)(共通) / 面接対策
 ④12月21日(月)・22日(火)(共通) / 模擬面接(集団面接)
- 【状況・結果】 製造36名中15名(42%)、建設25名中9名(36%)が進路決定。

【成功事例】 H君←→株式会社O
 緊急進路セミナーに全て出席し、繰り返し模擬面接を行なった。2011年3月卒業生向学内合同企業説明会(12月)参加の株式会社O(住宅施工)と面談し、その後、1月に内定となった。

【評価】 12月3日の第1回には未内定者の半数程度が参加したものの、2回目以降は出席がかなり減少したことを分析し、今後にかすべき。

●内定状況(2010年2月)



【評価】 取組着手以前(8月)には、就職率が7割を切る状況が予測されたが、2月末現在で7割を越えた。

一方未就職者率はまだ20%台である。また、中堅・中小企業就職者率は建設業関連では9割を超え、製造業関連でも8割に近い数字となった。

●中堅・中小企業就職者率と未就職者率(2010年2月)

未就職者率 目標値8%以下	
製造技能 工芸学科	27.4%
建設技能 工芸学科	20.1%
合計	23.9%

※未内定者数/卒業予定者数

ものづくり中堅・中小企業就職者率 目標値80%以上	
製造技能 工芸学科	76.4%
建設技能 工芸学科	89.6%
合計	83.6%

※中堅・中小企業:従業員数1,000人未満

6. 3年生を対象とした取組と効果・評価

●2011年3月卒業生向 就職セミナー

【概要】2009年10月～2010年2月まで、
計23回の外部講師を中心に実施。



【主な内容】

- ・業界研究・職種研究
- ・職務適性テスト
- ・自己PR
- ・エントリーシート課題添削
- ・志望動機
- ・ポートフォリオ（作品集）作成
- ・筆記試験対策
- ・公務員試験対策
- ・面接対策
- ・模擬面接実践

【評価】これらを受講した学生のその後のパフォーマンスを評価し、
総合的な研修となるようにすることが必要ではないか。

●企業見学バスツアー

【建設技能工芸学科】

- ・第1回：2009年9月24日（木）／参加学生38名／二宮建設（株）、清水建設（株）
- ・第2回：2010年1月15日（金）／参加学生27名／
東京セキスイハイム工業（株）、東京スカイツリー建設現場

【製造技能工芸学科】

- ・第1回：2009年10月28日（水）／参加学生25名（取材：日刊工業新聞社記者）／
金子農機（株）／富士重工業（株）矢島工場／（株）宮津製作所
- ・第2回：2010年1月15日（金）／参加学生19名／
東京セキスイハイム工業（株）、パナソニック電工北関東（株）

【感想・要望＝評価】

- ・工場見学と説明を聞くことで大変勉強になった。
- ・今回のツアーを通じて就職への意欲が高まった。
- ・中小企業は大手の下請けの仕事ばかりだと思っていたが、
中小企業にも独自の製品を製造、販売を行っている事を知って、
就職先の幅が広がったと感じた。
- ・1社あたりの見学時間が短かった。
- ・3年次ではなく2年次から実施してほしい。
- ・また企業見学ツアーを実施してほしい。



富士重工業（株）



東京スカイツリー建設現場

●保護者会

【日時】

- ・2009年10月31日(土)15:00~18:00 ※学園祭(碧蓮祭)開催

【参加数】

- ・製造技能工芸学科:45世帯 / 建設技能工芸学科:46世帯

【実施概要】

- ・全体説明(学科長、教務担当、就職担当)
- ・教員との個別相談(各教員)
- ・キャンパスツアー
- ・教員との懇談会(両学科合同)



全体説明



教員との個別相談

【保護者からの意見=評価】今後も継続して実施してほしい。

●就職強化セミナー

【日時・参加学生数】

- ・1月29日(金)19:30~21:30 / 34名(製造18名/建設15名/大学院1名)
- ・1月30日(土)10:00~18:00 / 14名(製造8名/建設6名)

【目的】

- ・本格的に選考などが始まる2月に向け、採用側の視点を知り、就職活動に臨む意識を高め、必死に取り組むことの重要性を伝える。
- ・学生同士の“横の繋がり”を持たせ、一体感を作り上げ、個別の勉強会(面接、グループディスカッション、企業研究、自己PR等)の開催・活性化の契機とする。

【感想=評価】

- ・挨拶や話の聞き方など普段いかに意識していないかを実感させられた。
- ・自分は常に見られているという意識を持つことの重要性がわかった。
- ・グループディスカッションなどのセミナーも行なってほしい。



1日目の様子



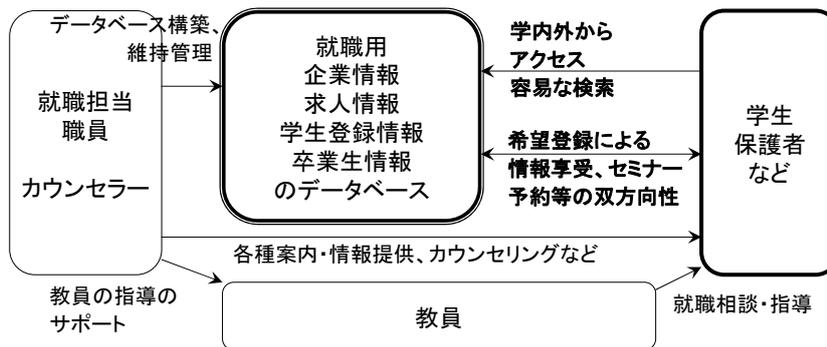
2日目の様子

●就職求人検索システムの導入

【特長】

- ・在籍者管理：学生自ら基本データ、進路希望情報、活動情報の入力が可能。
- ・企業の基本情報、活動情報、採用実績、OB・OG有無の検索・閲覧が可能。
- ・求人情報：企業の求人情報を学生が閲覧でき、あらかじめ希望職種等を登録すると、条件に合致する新着の求人情報を迅速に検索・表示可能。（双方向性）
- ・学内の就職関係イベントについて、学生が把握・申し込みが可能となり、職員はイベントの通知や参加者管理が可能。（双方向性）
- ・2010年2月より本格稼働。

就職求人検索システムの概要



7. まとめと今後の課題

【まとめ】

- ① ものづくりの中堅・中小求人企業と求職学生のマッチングをはかることを目的として、学生支援プログラムを実行した。
- ② 取組として、中堅・中小企業の新規求人開拓、専門家カウンセリングや企業説明会、保護者会等を実施した。
- ③ 中堅・中小企業就職者率は目標の80%を超える数字となった。しかし、未就職者率(目標8%以下)は現在20数%であり、未だ厳しい状況である。
- ④ 主な原因は9月以降の実行だったため効果が低かったことが挙げられる。3年生については、早期からの対策強化がはかられており、学生の参加意欲なども高いことから、その効果が期待される。

【今後の課題＝2010年度の取組に向けて】

(継続する取組)

- 就職求人検索システムの改善活用と就職センターの整備
- 企業見学バスツアー等による企業・業界研究の拡充
- キャリアカウンセリングの継続実施による定着化

(改善実施および新規着手する取組)

- 就職セミナーの充実と、勉強会(学生主体)の開催・支援による継続性展開
- 同窓会や保護者と連携した総合的な就職支援環境構築 など